

Hグループ [1/2] 場所を特定できる意見

■計画用地の土地

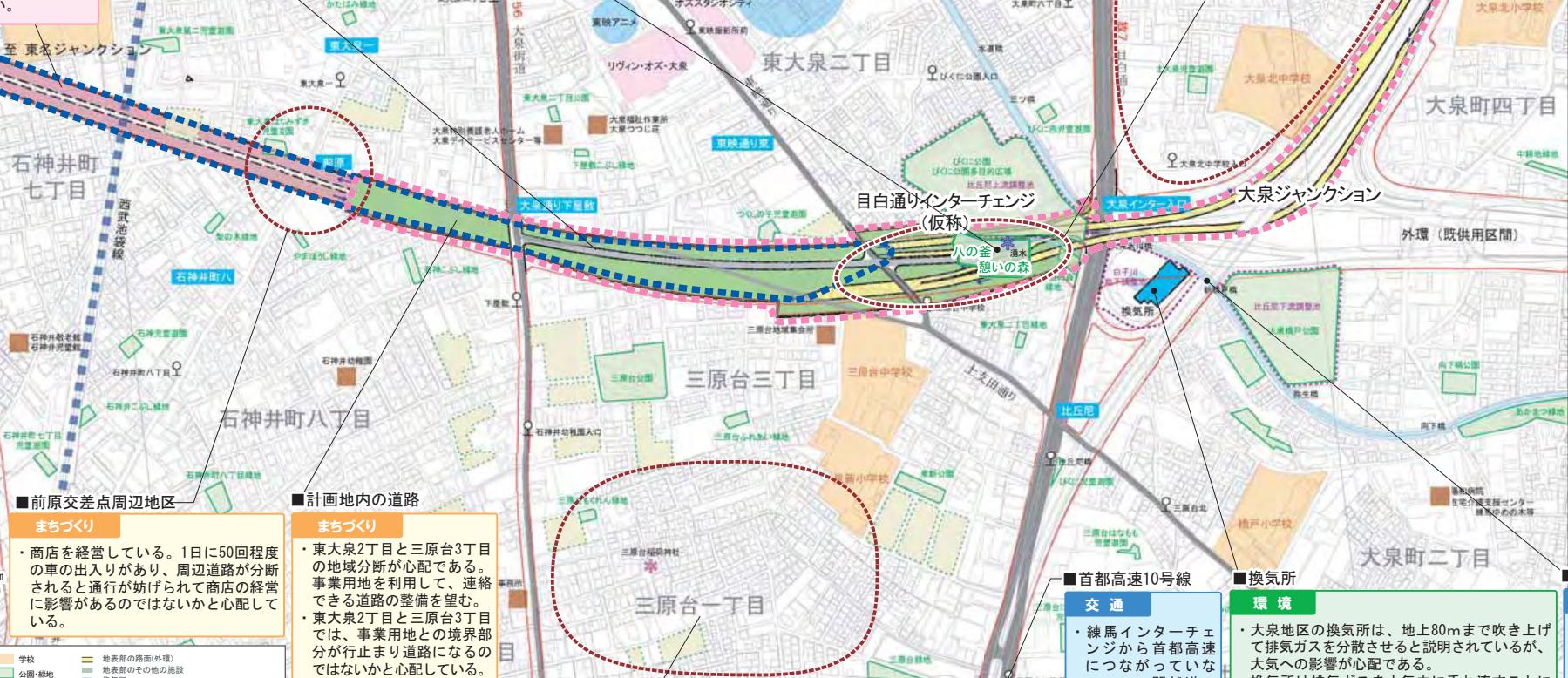
移転補償

- ・自宅兼店舗の建物の一部が事業用地に含まれる計画になっている。前面道路は全て事業用地に含まれている。工事が始まると建物への出入りが出来なくなり、商売にも影響が出るのではないかと不安である。
- ・事業用地に係る地権者は自分の土地や家屋はどうなるのかを心配している。事業化前の今段階から、地権者に対して測量や用地買収の時期、工事日程などの説明会を始めておかないと、将来的に揉めることになるのではないかと心配している。

■トンネル部

安全

- ・トンネル内で事故が起こった時の避難路が確保されているか心配である。現案の地上部まで徒步で避難するには距離が長いので、大深度にあたる箇所にも地上への避難路を作り、あわせて換気所も設置して欲しい。



■凡例



■八の金憩いの森

環境

- ・外環道の整備に反対ということではないが、自然の持つ機能を保全してほしい。
- ・八の金の湧水が無くなるのではないかと心配している。外環道の整備後もその湧水を維持して欲しい。例えば、湧水から小川を引くことを望む。
- ・外環整備に伴い、八の金の水脈が枯れてしまうのではないかと懸念している。湧水が残るのであれば、比丘尼公園に蓋掛けして、その上部に八の金の持つ湧水や自然林を移動して欲しい。

■大泉街道

交通

- ・外環道が開通すると、大泉街道の交通混雑や歩行者の安全性が悪化するのではないかと懸念している。大泉街道などの周辺道路の整備も必要だ。

■目白通り

交通

- ・目白通りは現在でも交通量が多く、外環道が整備されるとますます交通が混雑するのではないかと懸念している。
- ・目白通りがさらに混雑するのではないかと心配している。混雑緩和のために、北園交差点から西の早期延伸を望む。

■大泉町5丁目

工事中

- ・工事期間が長期にわたるため、トラックの出入や大型重機の搬入などで、目白通りの混雑が激しくなるのではないかと心配している。

■大泉町5丁目

環境

- ・大泉町5丁目では、有志が大気汚染の定点観測を続けているが、外環道の整備により大気への影響を心配している。

■目白通りインターインテグレーティング付近

交通

- ・外環道が開通すると、目白通りに高速道路への出入り口が2箇所新設されることにより、さらに渋滞するのではないかと心配している。

環境

- ・インターインテグレーティングの新設箇所は、現在の三叉路から十字の交差点になり、通りの横断が不便になるのではないかと心配している。特に目白通りの横断が円滑になるように地下道などの整備を望む。

- ・インターインテグレーティングの新設箇所は、現在の三叉路から十字の交差点になり、通りの横断が不便になるのではないかと心配している。特に目白通りの横断が円滑になるように地下道などの整備を望む。

■三原台1丁目

環境

- ・生活水を地下水でまかなくており、地下水が涸れると生活できなくなるので心配である。

■首都高速10号線

交通

- ・練馬インターチェンジから首都高速につながっていないので、関越道の利用者が大泉地区の一般道路に下りることになり、交通が混雑している。首都高速10号線の早期開通を望む。

■換気所

環境

- ・大泉地区的換気所は、地上80mまで吹き上げて排気ガスを分散させると説明されているが、大気への影響が心配である。
- ・換気所は排気ガスを大気中に垂れ流すことになるのではないかと心配している。換気所における高性能な除去施設の開発・設置を望む。
- ・換気所周辺が環境や景観を配慮しない無機質な構造物になるのではないかと心配している。例えば、低いところに植栽を施すなどの工夫を望む。

■新橋戸橋

交通

- ・新橋戸橋の通りは、車の抜け道に利用する人が多く、目白通りが混雑するとさらに交通量が増える。外環整備後に目白通りが混雑して抜け道の交通量が増えるのではないかと心配している。

H グループ [2/2] 場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

交通

- ・地区内交通が混雑することが心配である。地区内交通の混雑を防ぐために標識などのわかりやすいサイン計画の整備を望む。

環境

- ・外環沿線で地上部に当る地区だけに換気所が計画されており、特に、大泉地区は中央ジャンクションからの延長11km分の換気をすることになっている。途中の大深度地区との負担の平等性が取れておらず、他の地区でも1、2箇所増やせないか検討して欲しい。
- ・外環沿線全体での負担の公平性を考慮して、インターチェンジやジャンクションのない地域に負担を配分することを望む。
- ・環境影響評価のあらまじで、「地下水流动保全工法」が紹介されているが、通水部を設けても、水脈に影響が出るのではないかと心配している。

工事中

- ・工事期間が長期にわたるため、工事関係車両が、地区内の生活道路に侵入してこないか心配である。
- ・工事車両が生活道路に流入して来るのはないかと心配している。工事計画を業者任せにしないで、行政が周辺の生活環境を保全するところまで監視して欲しい。
- ・工事期間中に、買物などに利用する生活道路が混雑したり、利用できなくなるのではないかと心配している。回り道などの案内看板などで誘導して、支障のないように徹底して欲しい。
- ・大泉街道(補助156)の拡幅整備が終わっていない状態で、外環道の工事に着工すると、工事車両等で交通混雑が激しくなる。歩道も整備されておらず、歩行者の安全性を懸念する。

移転補償

- ・地下15~30mの水脈に当る井戸水を生活に利用しており、外環工事で水質悪化するのではないかと心配している。以前、区に上水道を引く相談をしたが、新設箇所の大部分が公道上であるにも関わらず、高額の自己負担が必要と聞いており不安である。

計画検討の進め方

- ・地権者や周辺住民の質問に回答できる常駐の職員を配置して、窓口を常設して欲しい。

I グループ [2/2] 場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

交通

- ・外環が大泉まで整備されたとき桜並木通りの交通量が急増した。外環が更に伸びた場合、交通量が増えるのではないかと心配である。
- ・青梅街道ICの整備が中止になった場合の大泉周辺の交通量への影響を心配している。片方だけが建設されても意味がないので両方が建設されるようにしてほしい。
- ・現在は、自宅前の生活道路が大泉インターから出た車の抜け道で渋滞し、事故が多発しているため、外環整備により改善されることを希望する。
- ・生活道路における通過交通など一般道の問題について、外環の整備と併せて考え、地域住民の安全が確保されることを期待する。
- ・各交差点は現状でもパンク状態である。道路建設後もパンク状態になるのではないかと懸念している。
- ・外環の既供用区間の整備で大事なことは、上部に緑地帯が出来たことよりも、両側に大きな側道と遊歩道ができたことである。そのことを考慮して検討すべきである。

工事中

- ・工事が長期間なので、施工中の沿道住民の生活環境、生活設計への影響が心配である。各施工段階において工事車両の進入、騒音、振動等がどの程度地域に影響を与えるのか公表してほしい。
- ・工事中の騒音・振動対策について不安がある。現状でも騒音・振動対策が講じられていない気がしたので、考えてほしい。
- ・工事中の子供の安全が心配である。生活圏内に工事車両を進入させない、工事車両の通行時間を制限する等の案を考えて欲しい。

移転補償

- ・自宅が計画線内で土地を売ることができず迷惑している。
- ・自宅が計画内にかかっており、高齢のため移転や代替地のことが心配である。
- ・外環整備による痛みを伴う地元住民の生活に関する保障が考えられないことへの懸念がある。例えば、減税や騒音・振動対策費用負担を考えて欲しい。（エアコンや防音サッシの費用負担）

環境

- ・外環によりさらに排気ガスが増加することを心配している。
- ・煙は空気より重いので、低くなっている白子川周辺に有害物質が溜まり、ぜんそくの発生が増えるのではないかと懸念している。
- ・外環道路が完成する頃には車から排気ガスが出ないようになっていると思うので、大気質に対しての心配がない状況であることを期待する。
- ・外環道路が完成する数十年後はガソリン車が減って、水素等を使った車の研究も進むと思うので、NOxも今後それほど問題にならないことを期待する。予測データにはガソリン車が減少するデータも反映してもらいたい。
- ・外環道路が完成する数十年後はガソリン車が減って、水素等を使った車の研究も進むと思うので、今後は、NOxよりタイヤの摩耗やアスファルトが削られたかす等の粉塵が問題である。
- ・騒音・振動が基準値以内でも影響に対して不安がある。対策を考えて欲しい。

計画検討の進め方

- ・大気について『事業者の実行可能な範囲内で、必要に応じ最新技術を換気所に適用することを事業実施段階で検討する』ことが確約されていないため不安である。
- ・海外の技術や実績を調査していいものを取り入れたり、新技術を積極的に取り入れて欲しい。
- ・他地域の検討会における意見等も合わせて整理し、必要に応じて公表してほしい。
- ・事業の有効性がわからないという懸念がある。外環既設開設区间における政策評価の実施および公表して欲しい。
- ・誘発交通量に関する予測も行い計画を検討して欲しい。
- ・大泉の交通量は青梅街道インター・チェンジとの関係があるため、大泉と青梅街道インター・チェンジの関係を踏まえて交通量を予測し、計画を検討しているのか知りたい。
- ・住民は現状で何も分らないことが不安である（目に見えないことが不安である）。もっと具体的な情報を提示して欲しい。

まちづくり

- ・外環の整備により沿線の用途地域規制の変更が必要になるのではないか。用途地域が変更される場合、生活環境にどのような影響があるのか不安である。
- ・商店会で地域の公園などの清掃を行っている。外環により地域が分断されると、商店会も分断され、コミュニティが分断されることへの懸念がある。
- ・外環ができることで、商店街への影響が心配。地域分断が生じないように生活道路を確保してほしい。

J グループ [1/2] 場所を特定できる意見

■八の釜憩いの森

- 環境**
- 八の釜は文化であり、子どもが育った原風景であるので、残したい。効率一辺倒ではなく、歴史文化を大切にしてほしい。
 - 八の釜憩いの森や湧水の回遊ルートや保全の検討をしてほしい。
 - 区が認めた大切な財産である八の釜の森や湧水がなぜ残せないのか説明して欲しい。

- 八の釜の代替計画の検討の可能性、スケジュールを知りたい。
- 八の釜を移転させることを前提に考えるのではなく、まず現在の八の釜がどのような水系でできているのかなど現状をしっかり調べ、それを住民に知らせてほしい。
- 八の釜は本来もう少し南側にあったと聞くが、代替のところで復元できるとは思えない。
- すでにボーリング調査で、現状は調査しているらしいが結果を知られていない。住民に内容をきちんと公表してほしい。
- 現在ある貴重な湧水やカワモズクなどは簡単に移植や再現はできないし、再現しようとしても陳腐な物になってしまふと思う。
- 環境施設帯については、八の釜の復元というと陳腐になてしまうので、切り離して考えても、住民が我慢している分地域にとって有効な空間にしてほしい。



0 50 100 150 200 m

■凡例



■大泉町5・6丁目の道路

工事中

- 大泉町5丁目、6丁目は道路が狭く、現在白子川の改修工事で多くの工事車両が通って危険である。外環の工事でさらにひどくなるのではないか懸念する。

■目白通り

交通

- 目白通りの交通事情の改善を期待している。
- すでに外環道の目白通りの出入り口が混雑しているので、渋滞を解消するために外環の整備と合わせて目白通りを拡幅してほしい。

■大泉町5・6丁目の道路（通学路）

安全

- 出入り口周辺に交通が集中することで、大泉6丁目の歩車分離がない通学路に通過交通が入ることを心配している。外環完成前に既存の道路整備が必要。

■関越道新座料金所

交通

- 渋滞が解消されると思うので、関越道新座出口の部分をIC化することを期待する。

■大泉インターチェンジ

交通

- 大泉ICが両方向から出入りができるようになることで、周辺も混雑することが懸念される。
- 外環道は現在入りづらい入口設計になっているので、つなげる際にきちんと改良してほしい。
- 今でも混雑しているのに、出入り口が増えて一般道との合流が捌ききれないことが予想される。比丘尼交差点アンダーパスなど道路の工夫をしてほしい。

環境

- 出入り口付近では停・発車の排ガスに加え、換気所による大気への影響も懸念される。換気所は一部の地域に負担が集中しないよう公平に設置してほしい。

■大泉ジャンクション

交通

- 現在でもICの手前で混雑しているので、高速道路に入つからJCTに入れるようにし、一般道の混雑を緩和して欲しい。

■換気所

環境

- 換気所はなるべく飛散物が生じないような対策を検討すべき。
- 2.5マイクロメートル以下の粒子状物質を除去できる技術がアメリカにあると聞いており、外環の整備にもこのような技術を導入除去して欲しい。
- 現在の換気所の位置は周辺地域に比べて一番低いところであり、煙突を高くしてもそれほど飛散はできないのではないか懸念している。
- 現在の換気所の位置は料金所そばにあり、車両の発進停止などが多く排ガスが多く出ることが想定されることから、練馬区に大気汚染が集中することを懸念している。
- すでに清掃工場も近くにあるのに加え、換気所ができることによる大気への影響が心配だ。

■環境施設帯

環境

- 八の釜の上にあるゲートボール場が外環道によってつぶされる。代替地は予定されているようだが、日陰がなく高齢者にとっては使いづらい。高齢者にとって大切なレクリエーションの場として配慮や工夫をしてほしい。

■料金所

環境

- 料金所を多く造らず、一本化すれば料金徵收時の駐停車が減り、発進・停止時の排ガス軽減が期待される。また通行料の効率化により運送ビジネスの点でもメリットがあり、経済活性化にもつながるのではないか。

■東映通りとの交差部

交通

- 周辺住民が外環を使う際、土支田通りに入つてからでないと入れないので、これ以上渋滞を増やさないために、東映通りから外環に入れるよう工夫は考えられないか。

■首都高速10号線

交通

- 東京中心部との連絡が重要なので、首都高速道路までをつなぐ構想の実現(10号線)が期待される。
- 首都高10号線について、どの程度計画が進んでいるのか詳細を知りたい。

■目白通り／首台二丁目

交通

- 外環道が開通することによる周辺地域の交通量増加が心配だ。

J グループ [2/2] 場所を特定できない意見

■場所を特定できない意見

交通

- ・交通渋滞を解消するためには、外環完成後に大型車両の進入禁止の徹底など規制も徹底すべき。
- ・道路を造ったら逆に渋滞を誘発してしまうのではないか心配。
- ・練馬区西部の道路の充実を期待している。
- ・谷原本交差点は、渋滞することは計画段階から予想されていたのに対応せず、結局渋滞がひどく何度も信号手前部分を拡張している。後から追加すると余計な費用がかかるので、今回の計画では、きちんと事前に対処し、無駄のないようにすべきだ。
- ・現在の途中で止まっている状況よりは、外環が開通することによる交通量減少に期待したい。
- ・現状の大泉IC周辺が渋滞しているのに、さらに東名方面の出入り口が増えると明らかにさらに渋滞する。下りるだけの出口を新座方面に別途設置し、すでにある関越道の渋滞も緩和させたい。

工事中

- ・外環の工事により、大型の工事車両の進入がますますひどくなるのではないか心配。工事車両の地域内への進入規制をしてほしい。
- ・工事中の地域分断と交通安全への影響が心配である。どのように対処するのか説明して欲しい。
- ・工事中は排気ガスを多量に出すトレーラーが多く一般道を往来することになるため、工事中の排気ガスへの対策を懸念している。
- ・工事で水を止めるために注入液をつこうと聞いたが、土壤や水質の汚染が心配である。注入液の安全性について教えて欲しい。
- ・工事車両が多く通ることが予想されるため、工事段階からの大気への影響を心配している。
- ・残土をリサイクルするといっているが、大深度の土には未開の微生物などがあり、影響が心配だ。

計画検討の進め方

- ・事業採算をどのように考えているのか。
- ・最新のデータを反映させた将来交通量予測を行うべき。
- ・すでに新聞報道の交通量予測では、自動車が減少すると予測されているのに、現在公表されている環境評価や調査の結果は、それに対応していないAI物を使っている。最新のデータを用いて検討して欲しい。
- ・計画交通量などの予測値や前提条件がすでに想定を覆していることを懸念している。需要予測について再検討して欲しい。

環境

- ・大都市に世界でも類がない大規模高速道路の換気所を集中的に作った際の大気質の汚染が練馬区に集中するのではあれば、これまでのような地上型の道路の方が大気質汚染も集中しないと思われる。
- ・大都市に世界でも類がない大規模高速道路の換気所を集中的に作っても大丈夫なのか。換気所を分散して設置するなどして、リスクを分配した方がよいのではないか。
- ・環境省・厚生労働省を交えて大気汚染物質の身体影響を明らかにすべきである。光化学オキシダントは反応二次生成物質であり、予測の対象としないとあるが、練馬は光化学スモッグ注意報多発地帯でもあり予測を要望する。
- ・井戸水を使っている家があり、地下工事に伴う注入液により水質が悪くなることを心配している。
- ・地下水の漏水は、土留め壁のコンクリートが地盤と密着して一体化するので新たな水みちが発生することはないと回答しているが、深度50mは未知の世界。想定が覆されることはないと確信できるのか。八王子トンネルは漏水し、地下水の汚染も心配されている。
- ・元々この周辺は沼地なので大規模な構造物を作っても大丈夫なのか心配だ。
- ・環境影響や健康との関係など、関係する省庁である厚生労働省や環境省などの判断を加味した総合的評価が必要だ。
- ・予測と実態が乖離した場合の対応、責任の所在を明確にするべきである。大規模事業を執行する場合は、事業完了まで責任を全うするような態勢（ママ）で臨むべきと考える。

まちづくり

- ・周辺住民にとっては、道路ができるによってどうまちが変わらかが一番気になる。現在の周辺地域の都市計画の情報がベースになるはずだが、そうした情報も提供されていないので、きちんと説明してほしい。

安全

- ・既成市街地の道路整備は十分ではないが、それを整備しても危険が増大するだけで、道路整備だけによる安全確保は期待できない。